



コンビニオーナーの経営指針 葛藤と苦闘を乗り越えた先の変化

(有)シーアンドエス 代表取締役 土井弘平氏 (富山同友会)

業 種/ローソン6店舗経営 社員数/85名 (7アルバイト・パート70名) 売上高/約9億円

日 時 8月24日(金)
PM6:30~

会 場 高山市図書館 煥章館

住所/ 高山市馬場町 2-115

参加費 無料 (懇親会は実費)

※返送先 (同友会事務局)

FAX 058 - 274 - 8798

Tel : 058 - 273 - 2182 Mail : info@gifudoyu.jp



コンビニオーナーが経営指針と聞くと違和感を持たれる方がいらっしゃると思います。しかし、同社が加盟するローソンには、MO(マネジメントオーナー・4店舗以上の高品質な経営を実現した会社に与えられる)という制度があり、一般的なフランチャイズオーナーとは違い、本部と経営戦略を共有した上で自社独自の人材育成を行い、自社独自で販売データ分析を基に、経営目標や、実行計画をつくります。同社もMOの一つ。そのため同友会入会後は、経営指針を創る会に参加、自社の目指すべき方向を明確にしていきました。

とはいっても本部の理念や方針と、自社(自分)が思い描く理念や方針との間で大いに悩みます。それを乗り越え、指針書作成に漕ぎ着けるものの、社員、特に店長には受け入れられず、店長2名の退社を招いてしまいます。何がいけないのか…。思い悩むところに原因は“人間関係”であったことに気付く土井社長。事業を発展させることを念頭においた一人よがりの経営指針。店長の個性や考え方、感じ方を無視し、経営者の独断と押し付けであったと反省。それから3年が経ち、社員との人間関係づくりを大切にしながら、毎年指針書を改善、変更を行うことで社内の変化を少しずつ感じ始めています。

明確になった目指すべき姿に向け、やりたいこと、やらなければならないことが増えたと語る土井社長の取り組みと変化から、参加各社の未来を考えます。

2018年8月24日(金) 飛騨地区オープン例会

例会に… 出席します 欠席します

例会後懇親会に… 出席します 欠席します

企業名

氏名

役職

経営者または、それに準ずる方であれば、同友会会員に限らず、どなたでもご参加頂けます。